

バードウォッチングで自然再発見



▲ハイタカやキセキレイなど珍しい鳥もいました

2月18日、ため池や喜瀬川に飛来する野鳥の生態を学ぶ「バードウォッチング」を開催しました。向ヶ池→大池→喜瀬川→大中公園→城池を巡るルートは短い距離ですが、湖沼、水辺、畑地、木など様々な自然環境に恵まれており、27種類の野鳥を確認できました。昨年 비해種類は少なかったのですが、ハイタカやキセキレイなど、このあたりでは珍しい野鳥たちに出会うことができました。立谷正樹先生から野鳥の見分け方や、鳴き声の特徴など丁寧に説明してもらって、参加者たちは、双眼鏡と図鑑をにらめっこして確認していました。

公民館まつり開催

3月2日から3月4日まで展示部門23サークル、ステージ部門21サークルにより、中央公民館で、平成23年度公民館まつりが開催されました。約3千600人の方々に楽しんでいただきました。

展示部門初参加の「手書き文字教室」の子どもの力強い作品も展示されました。ステージ部門は、子どもから長年練習を積み重ねてこられたベテランの方まで出演され、たくさん拍手を頂きました。体験教室、お茶席、作品バザー、フリーマーケット、模擬店など笑顔あふれる楽しい公民館まつりになりました。



若手消防団員意見交換会、熱心な発言が交わされました

（勸）兵庫県消防協会による若手消防団員の意見交換会が中央公民館で行われました。参加したのは、東播磨地区（3市2町）の40歳未満の消防団員15人で、入団の動機や、消防団活動などについて、熱心に話し合いました。

「消防団活動を通じ、地域での関係が密になり、地元が一層好きになった」また「礼儀正しくなった」という意見や、消防団に対する理解が薄く団員の確保が難しいなど、数多くの意見が出されました。今後もこのような事業を通して、東播磨地区各消防団の情報共有を促進し、消防団活動の活性化を図っていきます。



▲活動に対する真剣さが伝わります

親子ふれあいサークル「スマイリー」がひょうご子育て応援賞を受賞しました

この賞は、地域において子育てと仕事の両立、子育て家庭への支援など、先進的に取り組んでいる団体を表彰するものです。1〜4歳の未就園児親子が集う、親子ふれあいサークル「スマイリー」（代表・河村知里）はママと子どもが、お友達をつくらう！いっぱい体験しよう！ふれあいを楽しもう！をテーマに活動しています。親子で季節の行事を大切に、移動水族館でお魚との触れ合い、「音の国」による楽器の生演奏による人形劇、食育実習でおやつとおかず作り、と情緒豊かで健全に子どもたちが育つようにと取り組んでいます。



▲受賞を喜ぶ「スマイリー」の皆さん

播磨ふれあいの家 だより

山陰随一の藤棚 見学ツアー



全長500mにもおよぶ藤棚は圧巻！カメラはぜひ持参ください。たまらない情景です。

▼出発日 5月14日(月)、15日(火)、18日(金)

▼参加費 1人3,500円

▼コース 土山駅10:00→播磨町役場10:10→各コミセン→市川PA11:10~11:20→ふれあいの家12:00~13:00→大町藤公園13:45~14:30→但馬のまほろば(買物)15:00~15:30→各コミセン→播磨町役場→土山駅17:00

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくはりまっ子



うまた たいよう 浮田 太陽くん(1歳) 二子

元気にすくすく育てね (お父さん・お母さんより)

楽屋裏

町制施行50周年関係のお知らせがたくさん並びました。現在、住民の皆さんが主体的に記念事業に参加できる冠事業の募集も行っています。日ごろお仲間同士で楽しんでいる活動を、この50周年記念を機会に、多くの住民の皆さんにも楽しんでもらえるように、冠イベントとしてにぎやかに催してみませんか？広報はりまでご案内を掲載するなどのご支援をいたします。詳しくは、先月号の広報はりま3月号か町ホームページをご覧ください。たくか、企画グループまでお問い合わせください。

いいね! はりま

町政 レポート No.63



▲音吉顕彰会の皆さんと一緒に

一雨ごとに、春が近づいてきます。でも今年、特別の3月です。あの3・11から1年が経ちました。昨年、予算委員会の最中に起きた東日本大震災は、播磨町でも震度3を記録し、これまでに経験したことのない不思議な揺れを感じました。そして、その直後に配信された映像で私たちは信じられない光景を目にしました。亡くなられた方々への鎮魂の祈りをこめて、町内の公共施設においても3月11日2時46分から1分間黙祷を行いました。

◆2月23日、愛知県的美浜町から「音吉顕彰会」の32人の方が来町されました。音吉も漂流者で、当時播磨町のジョセフ・ヒコたちとも接点があったということで、播磨町の「ふるさとの先覚者顕彰会」との交流を行いました。私も参加させていただき、大変興味深い話題満載の新たな出会いをさせていただきました。その時に同行されていた方から、ジョセフ・ヒコの研究会がハワイにあるということをお聞きし、資料もお送りいただきました。ハワイでヒコを題材としたプロジェクトなども盛大にされており、とてもうれしいサプライズでした。いつか彼の地を訪れ、世界につながっているヒコの「縁」を訪ねてみたいと思っています。また、今年6月には播磨町の50周年記念事業として、全国の研究者たちが集まって「新聞資料研究大会」を開催します。ジョセフ・ヒコが日本で始めて発行した新聞「海外新聞」や、その前身である「新聞誌」など貴重な資料をお借りして、4月から郷土資料館で特別展も開催します。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

◆3月議会で24年度の施政方針を発表しました。防災対策の強化や新たな子育て支援策、高齢者へ配慮した施策など多くの事業を盛り込んだ新年度予算です。広報5月号に掲載します。

播磨町長 清水ひろ子